

## «プロフィール»

### ■ K a Z Z m a (カズマ)

#### 歌手

相愛大学音楽学部声楽学科声楽専攻科卒

幼少より教師である母のもとクラシック、カンツォーネ、タンゴ音楽に触れ、西洋音楽と南米音楽をルーツに持つ。

大学を卒業後上京し、歌手として生活をスタートする。

2005年よりタンゴ・バー「ダリ」にてレギュラー歌手として4年間に渡り出演し研鑽を積む。

2006年南米アルゼンチン（ブエノスアイレス）へ初渡航。

2011年ブエノスアイレスへ単身で渡り、歌手カルロス・ガリ（フェデリコ楽団専属歌手）に師事。

また現地のライブ、ステージ等に出演し好評を得て帰国。

現在タンゴ歌唱法を追求し活動を展開中。

### ■ 小松亮太

#### バンドネオン

1973年 東京 足立区出身。さそり座 AB 型。

高校時代より才能を発揮し、伝説的歌手である藤沢嵐子の91年のラスト・ステージではバンドネオン・ソロで伴奏を担当。

98年のCDデビューを果たして以来、カーネギーホールやアルゼンチン・ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。

アルバムはソニーミュージックより20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO〜2002」がアルゼンチンで高く評価され、03年にはアルゼンチン音楽家組合（AADI）、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。15年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム『Tint』は、第57回輝く！日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。

08年にはアストル・ピアソラの幻のオラトリオ「若き民衆」を東京オペラシティで日本初演。13年にはピアソラの「ブエノスアイレスのマリア」をピアソラ元夫人の歌手アメリカ・バルタールと共演し、ライブアルバムをリリース。

タンゴ界にとどまらず、ソニーのコンピレーション・アルバム「image」と、同ライブツアー「live image」には初回から参加。作曲活動も旺盛で、フジテレビ系アニメ『モノノ怪』OP曲「下弦の月」、TBS系列『THE 世界遺産』OP曲「風の詩」、映画「グスコブドリの伝記」（ワーナーブラザーズ配給・手塚プロダクション制作）、「体脂肪計タニタの社員食堂」（角川映画）、NHKドラマ「ご縁ハンター」のサウンドトラックなど多数を手掛けている。

これまでのタンゴ界以外での共演者は、ミッシェル・ルグラン、バホフォンド、イジヨク（Juck Lee）、ジェイク・シマブクロ、プロドスキー・カルテット、ミルバ、上妻宏光、石井一孝、NHK交響楽団、小曽根真、織田哲郎、佐渡裕、葉加瀬太郎、宮沢和史など。タンゴ界ではビクトル・ラバジェン、ラウル・ラビエ、マリア・グラニーヤ、オスバルド・ベリンジェリ、ファン・カルロス・コーペス、藤沢嵐子など。

16年12月「小松亮太 meets ワールドバンドネオンプレイヤーズ」開催、17年7月にイ・ムジチ合奏団と共演するなど海外アーティストとの公演も重ねている。

2018年度より洗足学園音楽大学客員教授。